

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

「住みやすさ共感！ 山県すてっぷあっぷ・ぷらん」

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県山県市

### 3 地域再生計画の区域

山県市の全域

### 4 地域再生計画の目標

山県市は、岐阜市の北部に隣接し、日本を代表する清流長良川の中流域に位置している。総面積は222.04平方キロメートルで、そのうち宅地が2.5%、農用地が5.5%、山林・原野が84.1%を占める。緑豊かな森林、美しい清流など自然環境に恵まれている一方で、県都岐阜市に隣接し名古屋へも通勤可能な中部圏域の要所として、住宅や産業基盤が集積した都市の活力を有する一面もある。行政人口は平成17年4月1日現在で、31,298人、世帯数9,838戸となっており、近年は横ばい傾向にある。本市は長良川水系の恵まれた水環境を有しているが、近年、生活排水による河川や農業用水路の水質汚濁、および悪臭が問題となっており、社会的にもその対策の必要性和緊急性が深く認識されるようになってきている。

本市では、豊かな自然環境と恵まれた立地条件を十分に生かし、地域の再生を図るべく、「住みやすさ共感！ 山県すてっぷあっぷ・ぷらん」というキャッチフレーズのもと、豊かな自然と活力ある都市が調和した「安らかで快適な21世紀の住みよいまちづくり」を目指している。この基本理念に基づいて地域の再生を図るためには、長良川水系の恵まれた水環境を保全・回復しつつ都市としての住環境を充実させることが必要不可欠である。すなわちホタルの棲む清流を復活させるなど自然環境を良好に保ちながら、住みやすいまちづくりを行い定住人口の増加を図ることにより、山県市が本来もつポテンシャルを最大限に引き出して地域の活性化につなげることができる。そのためには生活排水を適正に処理することが重要であり、市民の水質保全意識の高揚を図るとともに、住民の自覚と協力の下に官民一体となった生活排水処理対策を推進し、水質の維持改善と自然環境の保全・再生を図り、ホタルの棲む清流を守り育てるものである。

【目標1】 汚水処理整備の推進（汚水処理人口普及率を、41%から58%に向上）

【目標2】 住環境の改善と豊かな自然の保全・回復（定住人口の増加[平成22年までに0.8%の人口増加を目標]、ホタルの棲む清流の復活）

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

現在山県市の生活排水処理施設は、農業集落排水事業 6 地区(赤尾、梅原、大桑、桜尾、伊自良左岸、伊自良右岸)が整備済みであり、供用を開始している。また浄化槽については平成 16 年度末において整備人口として 4,776 人が整備されており、農業集落排水とあわせて、山県市の汚水処理人口普及率は約 41%(平成 16 年度末現在)となっている。また公共下水道事業として、高富処理区、美山第 1 処理区、美山第 2 処理区が計画されている。

地域再生計画の目標を達成するために、公共下水道事業(高富処理区)を推進し、平成 19 年度末の供用開始を目指すとともに、浄化槽設置整備事業(個人設置型)を促進することにより浄化槽設置基数を増加させ、汚水処理人口普及率を向上させるとともに、住環境の改善と豊かな自然の保全・回復を図るものである。

#### (1) 公共下水道事業(高富処理区)

本市の公共下水道事業(高富処理区)の全体計画区域のうち、事業認可を受けた約 88ha(4,300 人)について、目標年である平成 19 年度末までに整備し、供用開始することを目標とする。

#### (2) 浄化槽設置整備事業(個人設置型)

平成 17 年度より平成 19 年度までの 3 力年において、浄化槽基数 314 基(1,155 人)の整備を行う。またすでに整備完了した農業集落排水事業も含めて、すべての事業を含めた汚水処理人口普及率の目標を、平成 19 年度末において 58%とする。

## 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

### (1) 汚水処理施設整備交付金を活用する事業

#### [事業主体]

- ・いずれも山口市

#### [施設の種類]

- ・公共下水道、浄化槽

#### [事業区域]

- ・公共下水道 山口市高富地区
- ・浄化槽（個人設置型） 山口市全域（公共下水道事業認可区域および農業集落排水整備区域を除く）

#### [事業期間]

- ・公共下水道 平成17年度～19年度
- ・浄化槽（個人設置型） 平成17年度～19年度

#### [整備量]

- ・公共下水道 管渠 150～600 26,677m  
処理場 1箇所
- ・浄化槽（個人設置型） 314基

なお、各処理施設による新規の処理人口は下記の通り

公共下水道 高富地区で4,300人、浄化槽1,155人

#### [事業費]

- ・公共下水道 5,686,964千円  
(うち、単独 329,000千円)  
(うち、国費 2,764,305千円)
- ・浄化槽（個人設置型） 147,678千円  
(うち、国費 49,226千円)
- 合 計 5,834,642千円  
(うち、単独 329,000千円)  
(うち、国費 2,813,531千円)

## 5 - 3 その他の事業

本市の美しい水環境を保全・再生し、次代に継承していくためには、より多くの市民の理解と協力を得る必要がある。そのため、学校教育や生涯学習の機会を活用するほか、汚水処理施設の見学会、イベントにあわせた講演会の開催など、多様な機会を活用して自然環境保全に関する広報・啓発活動を推進する。また山口市の水辺環境の価値を観光資源として生かすため、「山県ホテルまつり（仮称）」等のイベントを企画し、市の活性化につなげる。

## 6 計画期間

平成17年度～平成19年度

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、山県市において4に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し公表する。

また、整備された汚水処理施設については、水質検査、維持管理などが適正に行われていることについて把握し、適正な時期に報告を行う。

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し。

### 【添付資料】

#### 目次

(1) 付1 - 1 地域再生計画に含まれる行政区画を表示した図面

付1 - 2 縮尺、方位、目標となる地物および地域再生計画の区域を表示した付近見取り図 [山県市の汚水処理整備計画図(H17～H19)]

(2) 付2 - 1 地域再生計画の工程表

付2 - 2 工程表の内容を説明した文章

(3) 付3 地域再生計画の全体像を示すイメージ図